

申込の流れ

保育所・幼稚園・
認定こども園等



山口県乳幼児の育ちと学び
支援センター

アドバイザー等
決定までに数日
お時間をいただきます。

申込が希望日の直前
となる場合、ご希望
に添えないことがござ
いますのでご了承ください。

訪問申込書



乳幼セWebページから
取得できます。

①申込・送付

園所名、連絡先、希望日時、内容等をお知らせください。
電話申込後、内容等確認のため訪問申込書をメールにてご送付ください。
※鑑は不要です。
※講義を希望される場合は、希望日の1か月前までにご連絡ください。
☎083-933-4450 → ✉

②調整・送付

アドバイザー等と日程を調整し日時が決定したら、訪問決定書類を送付いたします。
※内容によって、アドバイザー等と直接打合せしていただく場合がございます。

③訪問

※乳幼セの指導主事等が同行させていただきます。

④アンケート送付

今後の訪問支援の充実の為、アンケートにご協力ください。
回答方法
・Microsoftフォーム
・メール ・Fax

アンケートは
フォームから
でも回答でき
ます！



アンケートフォーム

山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

令和6年度

アドバイザー等訪問の手引き

保育現場におけるいろいろな悩みや思い…

そうだ、アドバイザー等に聞いてみよう！

Q&Aよくあるご質問

訪問できる日を教えてください。

今年度は、**令和6年4月1日～令和7年3月14日**までの原則平日9時から17時です(その他、ご希望がございましたらご相談ください)。回数の制限はございません。

2回目以降の申込方法を教えてください。

継続した訪問の場合、お電話で申し込めば申込書の提出は必要ありません。年度や内容等が変わった場合には再度申込書の提出をお願いします。

謝金がかかりますか？

旅費や謝金は県が負担します。園が負担する必要はありません。

準備するものがありますか？

指導案等は必要ありません。訪問当日、保育の流れや子どもの様子をお聞きすることがあります。講義形式の場合、パソコン、プロジェクター、スクリーンを使用する場合があります。(園に無い場合は乳幼セが持参いたします。)

園の全職員が講義や協議に参加したいけど、一度に受けられません。

日にちや時間を変えて同じ内容を行うことで、全員が参加できます。

興味はあるけど、どんな内容にするか、どう進めたら良いかわかりません。

内容のご相談も受け付けております。下記まで気軽にご連絡ください！



山口県乳幼児の育ちと学び支援センター

〒753-8501 山口市滝町1-1 (県庁15階)

✉ a50908@pref.yamaguchi.lg.jp

☎ 083-933-4450 ☎ 083-933-4456



NYUU.YOUSE4450

山口県乳幼児の育ちと学び支援センターって？

乳幼児期の教育及び保育が、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なものであることに鑑み、その更なる質の向上を図るため、国公立・私立や施設類型の区別なく、乳幼児期の教育及び保育に関する保育者への研修や調査研究、幼児教育・保育施設に対する助言、情報提供等の施策を総合的に実施する拠点として山口県庁15階に設置されました。

アドバイザー等訪問ってなに？

乳幼児期の教育及び保育、福祉に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有する「幼児教育アドバイザー」「SSW(スクールソーシャルワーカー)」「専門分野に係る幼児教育アドバイザー」が、保育所・幼稚園・認定こども園等からの要請に応じて、訪問支援等を行います。

保幼小連携に関することなら小学校にも訪問できます！

どうやって申し込むの？

乳幼セまで
お気軽にお電話
ください！
083-933-4450

幼児教育アドバイザー (AD)

乳幼児期の教育及び保育に関する専門的な知見や豊富な実践経験を有する者です。保育所や幼稚園、認定こども園の施設長等、現場経験豊富なアドバイザーや、小学校、特別支援学校や保育者養成校での勤務経験、臨床心理士の資格を持っているアドバイザー等がいます。






特別支援  こんどう きみ 近藤 公	特別支援  おおもり ようこ 大森 洋子	特別支援  さくもと てるこ 作本 照子	特別支援  ささき かずみ 佐々木 和美	特別支援  たなか こうじ 田中 浩二	保幼小連携  さいき きみお 佐伯 公夫
特別支援  にしかわ まりこ 西川 麻里子	特別支援  にしやま しのぶ 西山 忍	特別支援  はやし かずこ 林 和子	特別支援  はやし ちえこ 林 智恵子	特別支援  もりみつ めぐみ 盛満 恵	

指導案を書いたり、特別に環境を整えたりする必要はありません。日頃の保育や子どもの様子を見せてください。



スクールソーシャルワーカー(SSW)

社会福祉の専門的な知識、技術を活用し、乳幼児を取り巻く環境に働きかけ、家庭、幼児教育・保育施設等、地域の関係機関をつなぎ、悩みを抱える家庭の実態を把握したり必要な支援を進めたりして問題の解決に向けて支援する専門家です。

県西部担当  たけした ともこ 竹下 朋子	県中部①担当 (山口・防府・萩・阿武)  なかむら けいこ 中村 圭子	県中部②担当 (宇部・美祢)  もりなが まりこ 森永 真里子	県東部担当  まつはら ゆかり 松原 由香里	県東部担当  たむら まゆみ 田村 真由美
--	---	---	--	--

令和5年度 訪問例

親子関係、家庭での生活が気になる
保護者の子どもに対する声掛けが厳しい
職員のメンタルケアをしたい
等

園全体で
少人数で
ケース会議への参加
保護者へのアプローチ方法
必要な情報の整理
対応時のポイント
地域の関係機関等
等

相談・助言
・保護者への支援について
・保護者対応について
・保育者のカウンセリング 等

講義
・事例を基にした保護者対応について
・気になる子どもの保護者との関わり
・関係機関との連携について 等

他にも、虐待について、メディア依存について、愛着障害について等の講義も可能です。

専門分野に係る幼児教育アドバイザー (専門AD)

分野名	名前	講義内容例
ICT活用	高下 正明	○保育での効果的なICT機器の活用
言語聴覚療法	中津 愛子	○子どもの言葉を育てる ○言葉の発達が気になる子どもへの関わり方 ○子どもの難聴
行動支援	宮木 秀雄	○ポジティブ行動支援 ○子どもの問題行動への対応 ○発達障害のある子どもへの支援
子育て支援	井手 裕子	○子育て支援の意義 ○未就園児家庭への支援 ○地域における子育て支援
子どもと環境	重村 美帆	○乳幼児期の環境 ○乳幼児期の発達 ○乳幼児期の遊びの見取り
子どもと健康	青山 翔	○幼児期の体力・運動発達の特徴 ○明日から使える運動遊び
作業療法	濱本 尊博	○子どもの運動機能 ○生活動作の獲得 ○発達障害のある子どもへの支援
障害のある子どもと家族支援	藤田 久美	○障害のある子どもの保育とクラス運営の方法 ○発達に気になる子どもの理解と家族支援
小児看護	家入 裕子 小迫 幸恵	○病気への対応 ○応急手当 ○感染症対策 ○手洗い指導 ○医療的ケア児
食育	塩田 博子 山崎 あかね	○アレルギー食の対応 ○食育の進め方 ○子どもの食生活
多文化共生	當房 詠子	○外国にルーツをもつ子どもへの理解 ○多国籍家庭への支援
乳幼児心理	大田 紀子	○子どもの遊びと心理発達 ○子どもの想像力やファンタジー
表現(音楽)	坂本 久美子	○子どものうたあそび ○リトミックの取り入れ方 ○わらべうた
防災	坂本 京子 山本 晴彦	○近年の気象災害の特徴と園での防災対策 ○防災情報の活用と災害時の対応 ○自然災害から見た園の立地特性 ○避難訓練の基本
保護者支援・家庭支援	竹下 徹	○保護者に寄り添う支援 ○保育ソーシャルワーク ○保護者や家庭支援の方法
保幼小連携・地域連携	中邑 至道	○保幼小連携体制の構築 ○カリキュラムの開発 ○地域との連携

訪問例①保育参観

9:30 打合せ
9:40 保育参観
10:20 振り返り
11:30 終了

子どもの様子や今までの関わり、見てほしい視点などを共有します。

保育者のよいところを認めながら振り返ります。子どもとの関わり方、環境の整え方、保護者への伝え方等の提案をしながら一緒に保育について考えます。

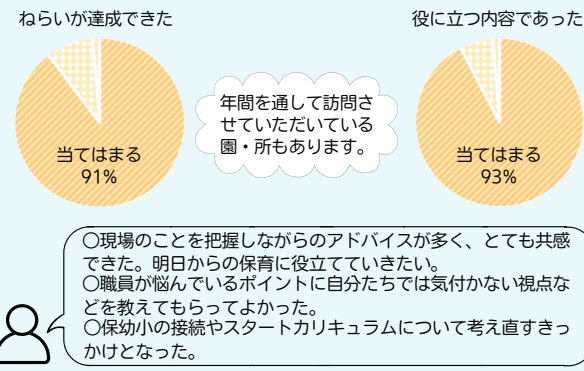
訪問例②講義

13:30 講義
14:30 質疑応答
15:00 終了

園内のテーマや内容に合わせ、形式や時間などを調整できます。

※訪問が1日に渡る場合は、アドバイザー等が持参した食事を摂れるスペースをお願いします。

<R5 訪問園アンケートより>



幼児教育アドバイザーとSSWと一緒に訪問し、手立てを考えることもできます！

	講義協議	演習	保育参観	保護者への助言
AD	○	○	○	○
SSW	○	○	○	○
専門AD	○	○		

研修が行いやすい形式や時間帯などは乳幼せまでご相談ください！